

<PRESS RELEASE>

報道関係者各位

2023 年 9 月 15 日（金）

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

**アメリカの写真サイト「Lenscratch」創設者アリーン・スミスソンが来日！
写真家のための『ポートフォリオレビュー&ワークショップ』
日本初開催決定のお知らせ。チケット販売:9/15(金)18時から**

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY（東京都中央区）は、2023 年 10 月 7 日（土）～29 日（日）の期間中、東京駅東側エリア（「東京スクエアガーデン」、「東京ミッドタウン八重洲」、「国立映画アーカイブ」他）で展開される、屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』にて、アメリカの写真サイト「Lenscratch」の創刊者兼編集長アリーン・スミスソンによるイベント『ポートフォリオレビュー&ワークショップ supported by Nobechi Creative』の日本初開催が 2023 年 9 月 15 日（金）に決定しました事をお知らせします。なお、チケット販売は 9 月 15 日（金）の 18 時から。無くなり次第終了です。

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO
ポートフォリオレビュー&ワークショップ

10月14日(土) 10:00-15:00
10月15日(日) 10:00-16:00
会場: TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY
事前申込制

アリーン・スミスソン
Aline Smithson / アーティスト、編集者、教育者
「Lenscratch」創刊者兼編集長

野辺地ジョージ（通訳）
George Nobechi / フォトグラファー
横浜写真フェスティバルエディター・ディレクター

『ポートフォリオレビュー&ワークショップ』 supported by Nobechi Creative』 告知用バナー

◆イベント『ポートフォリオレビュー&ワークショップ supported by Nobechi Creative』

｜開催概要

企画名：『ポートフォリオレビュー&ワークショップ』 supported by Nobechi Creative

内容：アメリカで高い影響力を誇る写真サイト「Lenscratch」創刊者兼編集長アリーン・スミスソンが来日。海外を含めたアートマーケットに照準を向けた作家の為のポートフォリオレビュー&ワークショップを行います。この講座は2日間に渡り、Nobechi Creative ご協力のもと、世界的にも評価の高いアリーン・スミスソンのワークショップを日本の作家向けに行う初の機会となります。【Day1】は、「ポートフォリオレビュー」、

屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『ポートフォリオレビュー＆ワークショップ supported by Nobechi Creative』開催のお知らせ 2 / 5

【Day2】は、「ファインアートの写真マーケットにあなたの作品を紹介する」をテーマにディスカッション形式の「ワークショップ」を行うものです。

登壇者：＜講師＞Aline Smithson（アリーン・スミスソン）、＜通訳＞野辺地ジョージ

開催日：【Day1】2023年10月14日（土）10:00-15:00

【Day2】2023年10月15日（日）10:00-16:00

会場：TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY（東京都中央区京橋3-6-6）

アクセス：JR 東京駅 八重洲南口より徒歩7分

都営浅草線 宝町駅 A4 番出口より徒歩1分

東京メトロ銀座線 京橋駅1番出口より徒歩1分

(<https://tip.or.jp/access>)

チケット料金：【Day1】参加チケット：18,700円（税込）

【Day2】参加チケット：12,100円（税込）

【Day1+Day2】おまとめ参加チケット：27,500円（税込）

チケット購入（Peatix）：<https://t3-2023-aline-workshop.peatix.com>

｜開催プログラム

【Day1】10/14(土):ポートフォリオレビュー

9:45～ 【開場】

10:00～ 【スタート・自己紹介】

- ・事務局ご挨拶
- ・アリーン・スミスソン・野辺地ジョージ自己紹介

10:10～ 【ポートフォリオレビュー（1名20分、入れ替え2分）】

12:00～ 【休憩（45分～60分）】

13:00～ 【ポートフォリオレビュー（1名20分、入れ替え2分）】

～15:00 【終了】

【Day2】10/15(日):ディスカッション形式ワークショップ

9:45～ 【開場】

10:00～ 【スタート・自己紹介】

- ・事務局ご挨拶
- ・アリーン・スミスソン・野辺地ジョージ自己紹介

10:10～ 【ディスカッション形式のトークショーVol.1】

12:00～ 【休憩（60分）】

13:00～ 【ディスカッション形式のトークショーVol.2】

15:00～ 【交流会】

～16:00 【終了】

｜登壇者のご紹介

— 講師 —

Aline Smithson(アリーン・スミスソン)



カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点に活動するアーティスト、編集者、教育者。コンセプチュアルなポートレートと、ユーモアとペーソスを用いて写真のパフォーマティブな可能性を追求する作品で知られる。ハリウッドの影で育った彼女の作品は、高尚な非現実の影響を受けている。カリフォルニア大学サンタバーバラ校で美術の学士号を取得後、クリエイティブ・スタディーズ・カレッジに入学し、ウィリアム・ウェグマン、アレン・ルバースバーグ、チャールズ・ガラベディアンらに師事。様々なギャラリー、美術館で40回以上の個展を開催し、多くのパブリック・コレクションに作品が収蔵されている。写真に関する日刊誌「Lenscratch」の創刊者兼編集長。2001年からロサンゼルス写真センターで教育者を務め、その指導範囲は世界中に及ぶ。2012年、写真コミュニティへの貢献が認められ、グリフィン写真美術館からライジング・スター賞を受賞。2014年と2019年、スミスソンの作品はクリティカル・マス・トップ50に選ばれた。

HP：www.alinesmithson.com

— 通訳 —

野辺地ジョージ(ノベチ・ジョージ George Nobechi)



フォトグラファー、軽井沢フォトフェスト(KFF) クリエイティブ・ディレクター、Nobechi Creative 代表 2015年から写真を始めたが、Center for Creative Photography、Webster Collection、A Gallery for Fine Photography や Patricia Conde Galeria 等の美術館やギャラリーに作品が収蔵されている。また、HuffPost、Newsweek、Japan Times、東京新聞、婦人公論、アサヒカメラなどの媒体にも掲載されている。写真祭との関わりは、出展作家として Review Santa Fe や Houston FOTOFEST、Photo NOLA、Filter Chicago、Mt. ROKKO International Photo Festival などの経験と、Mt. ROKKO でのボランティア、御苗場でのゲスト講師、Photo NOLA のレビュアー、KFF のディレクター役などを経て、今回のイベントの通訳を務める。

個展歴、受賞歴、その他バイオグラフィーはこちら：www.georgenobechi.com/cv

｜本講座はこんな方にお勧め！

- ☑現在、写真作品の制作をしており、次のステージに進みたい方
- ☑海外マーケットに自分の作品を売り込みたいと考えている方
- ☑作品制作において海外の基準などを知りたいと考えている方
- ☑自分の写真に対して客観的かつ有効なアドバイスが欲しい方

屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

イベント『ポートフォリオレビュー＆ワークショップ supported by Nobechi Creative』開催のお知らせ 4/5

◆『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』開催概要

名称：屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

会期：2023 年 10 月 7 日（土）～29 日（日）

会場：東京駅東側エリア（八重洲・日本橋・京橋）

東京スクエアガーデン、東京ミッドタウン八重洲、JR 東京駅（八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲）、国立映画アーカイブ、TODA BUILDING 工事仮囲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル、東京建物八重洲仲通りビル、大丸東京店、BAG-Brillia Art Gallery- + 2、art space kimura ASK?、72Gallery 他

入場：無料

主催：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

主管：株式会社シー・エム・エス

企画：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 実行委員会

特別協賛：TOKYO SQUARE GARDEN、東京ミッドタウン八重洲、東京建物株式会社、戸田建設株式会社

協賛：一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会、中央日本土地建物株式会社、大丸東京店

協力：国立映画アーカイブ、東京地下鉄株式会社、株式会社 POD、株式会社フラットラボ、公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団、株式会社クオラス、株式会社写真弘社、有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー、株式会社ゆめみ

後援：京橋一の部連合町会、京橋三丁目町会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス

※協賛企業社名は現時点の情報です。更新される可能性があります。

※各会場の休館日や開館・閉館時間などは、各施設の公式サイトをご確認ください。

※展示の詳細などは、イベント公式サイト（<https://t3photo.tokyo/>）を ご確認ください

◆屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO』とは？

2017 年の開始から今回で 5 回目を迎える『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO』は、世界的にも珍しい大都市の中心で開催される「屋外型国際写真祭」です。メインの舞台となるのは東京の【八重洲・日本橋・京橋】。中でも八重洲・京橋は、東京駅や銀座、日本橋に挟まれた絶好の立地にも関わらず、多くの人にとってオフィス街のイメージがあります。しかし、その歴史を紐解くと、江戸時代には城下町として文化が栄え、明治、大正、昭和と多くの文化人が足しげく通ったエリア。現在も江戸時代から続く老舗や、150 以上の古美術商や画廊が存在するなど、都内有数のアートの集積地として高いポテンシャルを秘めています。世界水準のアーティストたちによる作品展示やパブリックプログラム、さらには、日本国内 14 の美大・専門学校と協力し開催する「STUDENT PROJECT」を通じて、同エリアが「次世代の写真文化を育むアジアのハブ」となることを目指し開催しています。



◆一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY(T.I.P.)について

｜写真の未来を語り、交流する場所の創造

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY (T.I.P.) は、(1) 教育事業、(2) アーティストインレジデンス (AIR) 事業、(3) 地域文化事業という3つの事業を柱に活動を行う一般社団法人です。写真展示ギャラリーや、会員向けライブラリー、撮影スタジオなどの設備を持ち、写真文化と地域への貢献をミッションに活動をしています。

会社名：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

創業：2010 年 08 月

所在地：東京都中央区京橋 3-6-6 エクスアートビル 1F

電話番号：03-5524-6994

HP：<https://tip.or.jp/abouttip>



【本件に関するお問い合わせ（掲載・露出不可）】

本フェスティバルのディレクターであり創設者である速水惟広や、展示キュレーター（後日発表）への「インタビュー」、開催会場での「撮影取材」についても調整可能です。是非、お気軽にお問い合わせください。

画像素材⇒ <https://drive.google.com/drive/folders/1tnJW-6Ln1sW6JVyPPLsbxv0Rwx1i6Y2Y?usp=sharing>

[1] 広報全般のお問い合わせ

株式会社ロールアップ 広報担当：岩田（いわた）

MAIL：iwata@rollup.day / MOBILE：070-9027-2815 /

[2] 展示企画、キュレーター等への取材はこちら

株式会社シーエムエス 東京（京橋）本社 担当：堤谷（つつみに）

TEL：03-5524-6991 / FAX：03-5524-6992 /

MAIL：hana.tsutsumitani@cmsinc.jp